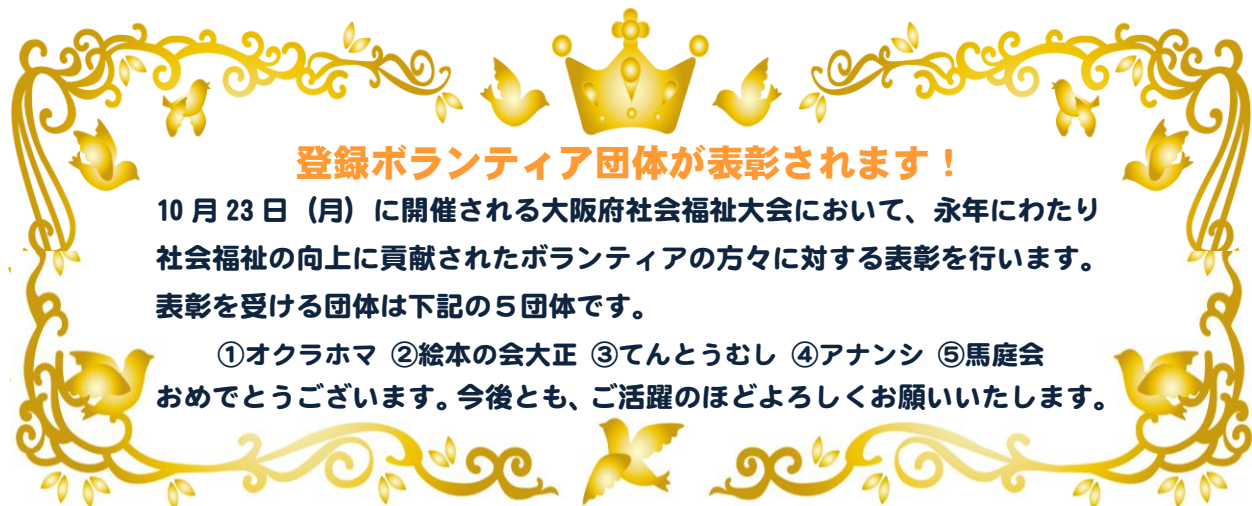


# ボランティア・市民活動センター通信



秋の味覚と言えば「栗」。日頃、食べている部分は実ではないことをご存知ですか？実は、この部分、栗の「種」なんです。イガがある外側の殻が皮、種を包んでいる硬い鬼皮が実、皮を剥いた中身が種というのが栗の構造です。



## 登録ボランティア団体が表彰されます！

10月23日（月）に開催される大阪府社会福祉大会において、永年にわたり社会福祉の向上に貢献されたボランティアの方々に対する表彰を行います。表彰を受ける団体は下記の5団体です。

①オクラホマ ②絵本の会大正 ③てんとうむし ④アナンシ ⑤馬庭会  
おめでとうございます。今後とも、ご活躍のほどよろしくお願いいたします。



## 歌体操教室を開催します！

リズムに合わせて身体を動かす体操です。気軽にお越しくださいね♪

日時 10月5日（木）午後1時30分～午後3時00分

場所 当センター2階

持ち物 タオル/飲み物

☆～問い合わせは下記の連絡先まで～☆



## おしらせ

活動報告として、日時・場所・人数・活動内容を3ヶ月に

1回程度、電話、FAXまたは来館時にお知らせください。



## 大正区ボランティア・市民活動センター

〒551-0013 大阪市大正区小林西1-14-3 ふれあい福祉センター内

TEL:6555-7575 FAX:6555-0687 (担当:会田)

# ボランティア活動紹介

## ☆つくしの会（夏休みおやこ食育教室）

8月19日（土）に、当センター2階で「夏休みおやこ食育教室」を開催しました。今回は、年長から小学4年生の児童と親に参加いただき、デザートづくりを通して、楽しく食育を学んでいただきました。調理指導は大正区食生活改善推進員協議会「つくしの会」のみなさまにお願いしました。「つくしの会」は、区役所でのシルバークッキングの他、区内の小学校でも調理指導をされています。はじめに、代表の上原会長から「食育5つの力」について説明された後、手洗いをし、いよいよ調理実習が始まりました。杏仁豆腐は、寒天を溶かす作業から始まり、「つくしの会」のメンバーが火加減やかき混ぜ方について適時指導されました。溶けた寒天に砂糖、牛乳を加え、氷で冷やす間、子どもたちは、ゆっくり固まる様子を、眼を輝かせながら見守っていました。みたらし団子は、白玉粉に豆腐を入れたもので、子どもたちはにこにこしながら団子を丸めていました。できあがった後、みんなで手を合わせて「いただきます！」。自分たちで作った手作りのデザートを、みんなで美味しく食べていました。当センターでは、これからも、子育て支援の催しを開催する予定ですので、ご期待ください。



## ☆手話サークル芦舟（大正区地域福祉ビジョン講演会）

8月28日（月）に、大正区役所区民ホールにて、大正区地域福祉ビジョン「居場所づくりを考える」講演会が開催されました。大阪教育大学の新崎先生を講師にお迎えして、地域における居場所づくりについてお話頂き、「手話サークル芦舟」に手話通訳をして頂きました。「芦舟」は、区内の催しでの手話通訳の他に、小学校で手話教室を行うなど、精力的に活動されているサークルです。講演の最初に、新崎先生は、通訳の側に移動し、手話表現の意味について説明されました。「分かった」という手話は、胸に手を当てて撫で下ろす動作で、腑に落ちることを表しており、本当に納得した時に人は初めて動き出すので、今日は、手話のように頭と心と身体を使ってお伝えしますと述べられました。手話では、手振りだけではなく、口の動きや表情も表現として用いられ、講演などの同時通訳では非常に集中力を要するので、20分程で交代しながら通訳をされていました。講演の最後に、新崎先生の好きな手話として「ボランティア」を挙げられました。両手を“チョコ”の形で下に向け、左右から人が歩くように指を前後させることで一緒に歩く、つまり、ボランティアをする方と支援を受ける方が共に歩むという意味が込められているとの言葉が印象に残りました。

